

中盤の四日目にして早くも役力士から全勝が消え、五日目まで平幕力士に優勝戦線の先頭を譲る波乱の展開となった今場所も残り二日。

協会的には春ノ翔と若ノ嶋の千秋楽結びの一番での決戦に期待がかかるが、果たしてこの混戦を制し賜盃を手にするのは誰なのか。

次開催は約一ヶ月後の8月9日、いよいよ雌雄を決する熱戦の舞台に乞うご期待！
(香具山)

十両は角武蔵と風神丸が2敗

十両の優勝争いは大混戦の状況から絞り込まれてきた。

七日目を終えて8力士が2敗で優勝争いの先頭に立つという状況から、2敗を守ったのはベテランの角武蔵と新十両の風神丸。これを3敗で、若巨、鳥海波、駒波、寶蔵、伊達の富士の5力士が追う展開となった。

先場所2勝9敗と大負けして大きく番付を下げた角武蔵は一年齢下のそろそろ関取を維持するのにも難しくなってきたか？と心配されたが、その声を跳ね返すかのような相撲で優勝争いを演じている。

新入幕の風神丸は部屋の横綱大神楽が休場し、師匠の磯ノ海親方も意気消沈して部屋ムードが暗くなる中で「自分が部屋を盛り上げてたい！」と一人気を吐いている。

両者の対戦はすでに終わっているが、11歳の差の両者が残り2日間、白星を続けられるか注目したい。



真田丸●(下手投げ)○風神丸



角武蔵○(押し出し)●駒波

初めて十両に陥落した若巨だったが、連勝して東筆頭で勝ち越し、来場所の一場所での幕内返り咲きを濃厚とした。

東筆頭での勝ち越しは鬼門と言われているが、それを跳ね返す九日目の勝ち越しを決めて霧ヶ浜親方も大いに喜んでのことだろう。

その他で入幕を狙うのは東二枚目で5勝の玄武岩、東三枚目で6勝と勝ち越した鳥海波、西四枚目で6勝と勝ち越した駒波といたところ。

一方で、今のところ十両からの陥落が濃厚なのは出雲山のみ。陥落しそうな力士は数名いるが、残り2日間の成績次第。「落ちる力士がいなくて幕下から上がる力士がいなくなるよ」と鹿賀乃戸親方が嘆いていた。
(錦風)

幕下は旅籠錦対逆岩

幕下は旅籠錦と逆岩が勝って4戦全勝とし千秋楽に優勝をかけて争うことになった。

5場所振りの十両復帰をかける旅籠錦。幕下に落ちてからは元気のいい相撲が続いていたが今場所運よく上位に番付を戻しての4連勝。

強久根との一番は立ち合いで左が入りかけた旅籠錦が徐々に深く差し寄り切りで深くした。西三枚目で4勝とすることで再十両も見てきた。

逆岩が逆本や鎧島の並み居る錦風勢の力士を差し置いて千秋楽決戦に進出。序二段では優勝はあるものの育成会では突出した成績で優勝はなかったが新幕下の今場所はいい相撲を取っている。



強久根●(寄り切り)○旅籠錦



玄武岩○(引き落し)●鳥海波

三日目に逆本を破った綱櫻との対戦となったが、出足鋭く向正面に一気に寄り切った。

新幕下での優勝の期待も出てくるが、優勝となれば暫(綱乃花)以来の記録となる。旅籠錦との対戦が楽しみなどところだ。

東筆頭の柏陵山が磯雷光を下し勝ち超して十両復帰を決めた。旅籠錦と同様もはや十両に戻るのには難しいかと師匠の勝間田親方も厳しい見方をしていたが、この上位勢の中で勝ち超して予想を覆して見せた。

かたや、一場所での返り咲きを果たしたかった虹ヶ谷と若草山は1勝3敗と負け越して来場所以降に再起をかけることになった。

他に上位陣で昇進の可能性がありそうなのは共に2勝2敗の磯雷光、巨鵬、達子波あたり。達子波に至っては先場所惜しくも昇進を逃しただけに、十両からの陥落力士数にもよるがここは4勝をあげて可能性を残しておきたい。次こそは悲願の関取誕生に向けて千秋楽は大事な相撲となる。

そして秋田勢は下位でも難波山と千曲海も3勝を上げ3人とも勝ち越し秋田親方に朗報を届けた。
(山里)

三段目、序の口

三段目の3勝対決は伊勢之山部屋の伊勢之里が友砂部屋、凸錦改め鱗湯を、友砂部屋、有難山が桐壺部屋、若播磨を破って4連勝。

先場所、順調に幕下に昇格した伊勢之里がまさかの負け越して三段目に陥落。しかし今



綱櫻●(寄り切り)○逆岩



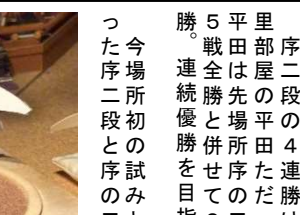
達子波○(押し倒し)●紅の華

場所は本来の力を発揮して鱗湯を下して4勝実なものとした。

大綱風の引退枠で三段目付出で初土俵を踏んだ有難山が桐壺勢3力士を破っての4連勝。これには友砂親方も「どう？有難山は強いでしょう」と満悦の様子。



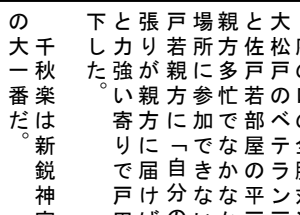
若播磨●(寄り切り)○有難山



光錦●(寄り切り)○平田



神宮○(寄り切り)●朱鷺錦



戸田●(寄り切り)○平戸波



戸田●(寄り切り)○平戸波



光錦●(寄り切り)○平田



鱗湯●(寄り切り)○伊勢里